

2022年度「裾野市地域公共交通網形成計画」事業実施状況の評価

資料 No.9

1 アウトプット指標

基本方針	目標	評価指標 (アウトプット指標)注	現状値	目標値 (2022年)	進捗 状況	実績値 2018年	実績値 2019年	実績値 2020年	実績値 2021年	実績値 2022年	評価実施時期	
基本方針1:広域 アクセスに配慮 しつつ、公共交通 機関の機能分担 と拠点機能の強 化によるネット ワークの再構築 を目指す	目標①:市民・来訪 者に合った地域公 共交通網の形成	①裾野駅・岩波駅利用者数	173万人/年	177万人/年	△	172万人/年	171万人/年	168万人/年	130万人/年	131万人/年	毎年	
		②自主運行バス収支率	17.4%	20%	△	18.1%	13.7%	12.2%	12.3%	—	毎年	
	目標②:地域に合っ た移動手段の導入	③地域と連携した地域特性に即し た移動手段の確保数(実験等)	—	1件以上 (累積)	◎	1件	1件	1件	1件	1件	1件	実施後
		目標③:交通結節点 の機能強化	④乗継拠点・ポイントでの機 能強化の整備箇所数	—	5箇所(累積)	△	/	—	1箇所	0箇所 (1箇所)	0箇所 (1箇所)	実施後
	⑤乗継のしやすさの市民の満 足度		26.8%	35%	—	/	/	/	/	12.8%	計画最終年度	
	目標④:バス・タク シー運転手の人材 確保	⑥運転手確保策の実施回数	—	4回(累積)	—	/	—	—	—	—	—	実施後
基本方針2:観光 振興や商業活性 化などまちづく り一体となっ た公共交通サー ビスの展開を目 指す	目標⑤:乗降しやす い車両導入による 利便性向上	⑦バス車両のバリアフリー化 率	89.6%	96%(累積)	◎	90.6%	96.4%	98.8%	100.0%	100.0%	毎年	
		⑧UDタクシー導入台数	0台	3台(累積)	◎	1台	2台(3台)	2台(5台)	1台(6台)	3台(9台)	毎年	
	目標⑥:分かりやす く、使いやすい公共 交通環境の充実	⑨運行情報案内の市民の満足 度	41.3%	50%	—	/	/	/	/	13.7%	計画最終年度	
		⑩商業施設等との連携による 利用促進活動の導入件数	—	4件(累積)	—	/	—	—	—	—	—	実施後
基本方針3:「地 域が支え、育て る」持続可能な公 共交通の確立を 目指す	目標⑦:高齢者・障 がい者・子ども等交 通弱者の移動支援 策の充実	⑪高齢者運転免許証返納者数	—	800人(累積)	◎	188人	247人 (435人)	194人 (629人)	177人 (806人)	182人 (988人)	毎年	
		⑫高齢者バス・タクシー利用 助成枚数	584枚	700枚	◎	531枚	2,377枚	1,809枚	2,157枚	12,511枚	毎年	
		⑬バス車両のバリアフリー化 率(再掲)	89.6%	96%(累積)	/	/	/	/	/	/	/	
		⑭UDタクシー導入台数 (再掲)	0台	3台(累積)	/	/	/	/	/	/	/	
	目標⑧:市民の公共 交通に対する意識 の醸成	⑮地域公共交通利用促進活動 事業実施回数	4回	20回(累積)	△	3回	5回(8回)	0回(8回)	1回(9回)	0回(9回)	毎年	

	◎	○	△	—
	38.4%	0.0%	30.8%	30.8%
アウトプット指標	5	0	4	4

【進捗状況凡例】

- ◎ 前倒しで推移 現状値が目標値に向けて想定以上に推移しており、目標達成が見込まれる。
- 順調に推移 現状値から判断し、目標達成が見込まれる。
- △ 取組みに遅れ 目標達成に向けて、より一層の推進を要する。
- 取組み前

2 アウトカム指標

評価指標 (アウトカム指標)	評価指標	現状値	目標値 (2022年)	進捗 状況	実績値 2018年	実績値 2019年	実績値 2020年	実績値 2021年	実績値 2022年	評価実施時期
「バス路線や便数」の満足度	市民意識調査	2.7%	13% 年に2.2%の向上	△	4.8%	4.7%	7.6%	4.4%	4.1%	毎年

## 2022年度「裾野市地域公共交通網形成計画」事業実施状況の評価

### 3 主な取組み

- ① 「裾野市内循環線」の利用実態を把握するため、モビリティ勉強会の一環でOD調査を実施。
  - ・12月から2月にかけて、「青葉台・千福が丘ルート」と「青葉台・岩波ルート」で合わせて60便以上乗車し、利用者の乗降場所を調査した。
  - ・利用者及び運転手から意見を聴取した。
  
- ② 「裾野市内循環線」の利用促進活動の実施
  - ・昨年度から、市内約70箇所（公共施設、スーパー、薬局、病院など）に路線図と時刻表のポスター掲示およびリーフレットの配架を継続。
  - ・広報紙への記事掲載。
  
- ③ 高齢者バス・タクシー利用助成の実施
  - ・すその一るの廃止に伴い、これまで運行区域外にお住いの70歳以上の高齢者を助成対象としていたが、令和4年度から地区による制限をなくした。
  - ・その結果、1,264人に助成券を交付し、令和3年度の164人と比較し、多くの人へ助成券を交付することが出来た。
  - ・定期的に広報無線や広報紙、庁舎1階電子掲示板、市内金融機関ディスプレイ、市公式LINE等で周知を図ったことも、申請者数の増加に繋がった。
  - ・高齢者運転免許証返納者に対し、令和4年度から新たにバス・タクシー利用助成を開始。
  
- ④ 裾野市公共交通に関する市民アンケートを6月に実施。
  - ・市民1,000人を対象。回収率60.4%。
  - ・5年後の外出における不安や、日常の主な外出先、交通手段、市内路線バスや鉄道、タクシーの利用頻度、利用しない理由、移動手段に関するニーズなどを調査。
  - ・アンケート結果も踏まえ、「裾野市地域公共交通計画」を2月に策定。
  
- ⑤ JR御殿場線利便性向上のための要望活動の実施
  - ・JR東海に対し、JR御殿場線の増便等の要望活動を1月に実施。
  - ・令和4年度より地域連携としてJR東海が市へ定期的に訪問。令和4年度は3回訪問があった。これにより、連携を密にしたタイムリーな要望、意見交換が可能となった。